

あわら市をより豊かに！

2025年6月3日

あわら市議会議員

青柳あつし

市政報告 Vol.017

～ごあいさつ～



草木が青々と茂り、夏の足音が近づいてまいりました。皆さま、新年度の生活には少しずつ慣れてこられた頃でしょうか。進学・就職・転居など、それぞれの場で頑張る皆さまに、心からのエールを送ります。

さて、６月定例会では補正予算が可決され、あわら市の未来を支える様々な事業が動き始めました。放課後子どもクラブの備品整備、「プラスワン給食」、中高一貫教育の魅力向上など、子育て・教育支援が充実していきます。

また、地域芸術や観光振興など、多様な分野での取り組みも進められています。

暮らしを支える制度や施策は、市民の声から作られていくものです。

これからも皆さまの声に耳を傾け、このまちの特色を磨き上げ、暮らしを支え、より豊かなあわら市を目指して全力で努力してまいります。皆さまのご支援を賜りますよう、引き続きよろしくお願いいたします。

子ども議会に向けて、金津中学校で出前講座を実施



10月に開催予定の「子ども議会」に向け、今回初めての試みとして、金津中学校の中高一貫クラスで３日間の出前講座を行いました。

テーマは「議会のしくみ」「市の仕事」「伝わるプレゼンのコツ」。先生役として生徒の皆さんと向き合いました。

プレゼンの授業では、誕生日プレゼントに例えて「伝わる伝え方」を解説したり、構成の考え方を“ハンバーガー”にたとえてみたりと、楽しみながら学べるよう工夫を凝らしました。生徒の皆さんの真剣な姿勢や柔軟な発想に触れ、むしろ私の方こそ多くの学びを得たと思います。子どもたちの活気あるグループワークからは、大人の議会にとっても学ぶべき姿があると感じさせられました。

今回の授業を通して、私が伝えたかったのは、「どんな時も“人”が中心にある」ということです。制度も議論も、すべては人のためにある――その視点を、少しでも子どもたちの中に残せたなら嬉しく思います。

本当に楽しく、有意義な時間を過ごさせていただきました。10月の市役所で行われる「子ども議会」で、どんな提案や意見が飛び出すのか、今からとても楽しみです。

活動報告

Activity Reports





車座対話集会には、衆議院議員の稲田朋美先生にもご参加いただき、
貴重なお時間を共有できました。（坂ノ下区民館にて）



駅前活性化



滝波宏文先生と



小林鷹之先生と



街灯指導



総合振興計画 配信



イノシシ被害現場確認（坪江地区にて）

編集後記

子ども議会の事前レクチャーで、うちの娘の同級生たちに「伝わる伝え方」などを教える機会がありました。

正直、これがなかなか難しくて…。

「娘だったら、どんな話をしたら喜ぶかな?」

「どんな伝え方なら、ちゃんと聞いてくれるかな?」

そんなことを思いながら、授業の準備をしていました。

娘を思いながらつくった“事前学習”。なんだかんだで、やっぱり家族っていいなぁと思えた時間でした。





トリムマラソン先導

6 月議会 一般質問の裏側



6 月定例会が 5 月 22 日から 6 月 2 日までの会期で開催されました。

一般質問の裏側ということで、想い・考え方・反省点・今後をみなさまにお伝えします。なお、全文に関しては私のホームページに原文どおり掲載しています。

今回の一般質問は、「あわら市の未来を支える“しくみ”をどう育てるか」をテーマに、2 つ質問と新しい提案をさせていただきました。これをきっかけに、あわら市がより豊かになるための取り組みが始まることを期待しています。



令和9年度、あわら市複合福祉施設に新たな子どもの遊び場が誕生します。

子どもの遊び場の活用と子育て支援のあり方について



今回の一般質問では、この新施設が持つ可能性と、完成後も進化を続けていくために必要な視点について議論しました。

「建てたら終わり、作ったら終わり」ではなく、どうすればこの場所が“育つ”のか。そのために最も大切なのは、まちの声、そして利用者の声を拾い続けることだと私は考えています。

良いものを大切にしながら、柔軟に進化を続けていくこと。利用者を増やし、実態を知り、新しいアイディアはすぐに試して、必要な改善を重ねていく。そうした前向きな姿勢こそが、施設を育て、そしてまち全体を動かしていく原動力になるはずです。

さらに、こうした子どもを中心にした施設整備は、これまでになかった新しいニーズを創出し、放課後児童クラブや子育て制度を見直すきっかけにもなります。制度も施設も生き物です。実態や時代に応じて運用を見直し、継続的に育てていくことで、かかわる人や地域に価値を与え続けることができます。

実際に、あわら市に引っ越してきたご家族から、他市との違いや、この地を選んだ理由を伺う機会がありました。「迷いもあったけれど、親のすすめでこの地に決めた」というその言葉には、地域への期待と、ほんの少しの不安がにじんでいました。

こうした“生の声”に耳を傾けながら、制度や施設を柔軟に育てていくこと。それが、「選ばれるまち・育てられるまち・愛されるまち」につながると、私は信じています。

あわらを選んでくれてありがとう――

その気持ちを胸に、これからも一歩ずつ歩みを進めていきたいと思います。

子どもの遊び場について

青柳篤始事務所 〒919-0633 あわら市花乃杜一丁目1-17 TEL:0776-73-0313 mail:info@a-aoyagi.com



私の想い――
企業の力が、あわら市の未来をつくる

企業誘致と地元企業支援、人材確保戦略について



あわら市は、まぎれもなく地元企業の存在によって支えられています。

特に製造業は、市税収入の約 6 割を担う、本市の屋台骨です。

これからのあわら市を成長させていくには、「得意な分野をさらに伸ばすこと」。それがもっとも着実で、力強い道だと考えます。あわら市が今後 10 年、20 年と持続可能な発展を遂げていくには、企業の成長とともにあるまちづくりが不可欠です。

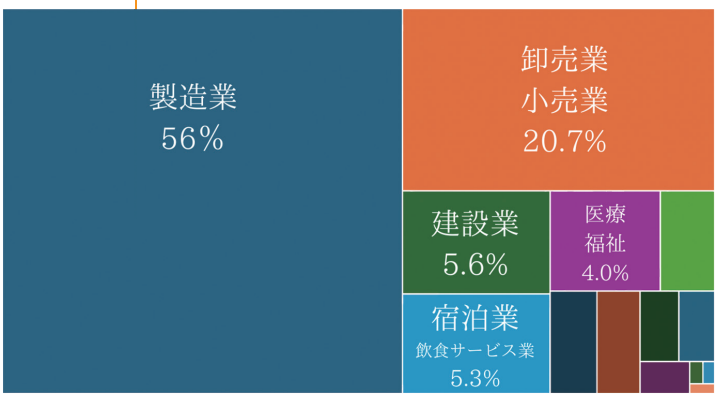
現在、あわら市では 23 歳前後の若者の流出が最も多いというデータがあります。これは多くの地方都市が抱える課題ですが、原因として共通しているのは「都市に比べて働ける場が少ないこと」です。若者が安心して働ける場を確保することは、あわら市を「子育てを機に帰りたくなるまち」に押し上げ、その後の人生をあわらで描いてもらう大きなきっかけになります。だからこそ、企業誘致や成長を促すための投資がとても大切です。

企業の誘致、企業の成長、そして人材の確保。企業が根づけば、地域は確実に潤っていきます。

これこそが、あわら市の未来を支える基盤であると、私は確信しています。

私はこの 2 年間、県外 240 社以上に企業誘致のアプローチを続けてきました。今できる**「将来、必ず市に戻ってくる投資」**が何かをしっかりと見極め、私はこれからも、企業の力を生かした持続可能なまちづくりを全力で進めてまいります。

企業誘致について



ツリーマップ：2021 年経済センサス調査活動調査より

市政よろず相談室

みなさんのご意見をお聞かせください。

ご意見募集中！



- 産業振興
- 空き家
- 空き店舗活用
- あわら市の誇り

メール・FAX は 24 時間受付
mail：atsushi@a-aoyagi.com
FAX：0776-73-5539
TEL：0776-73-0313